

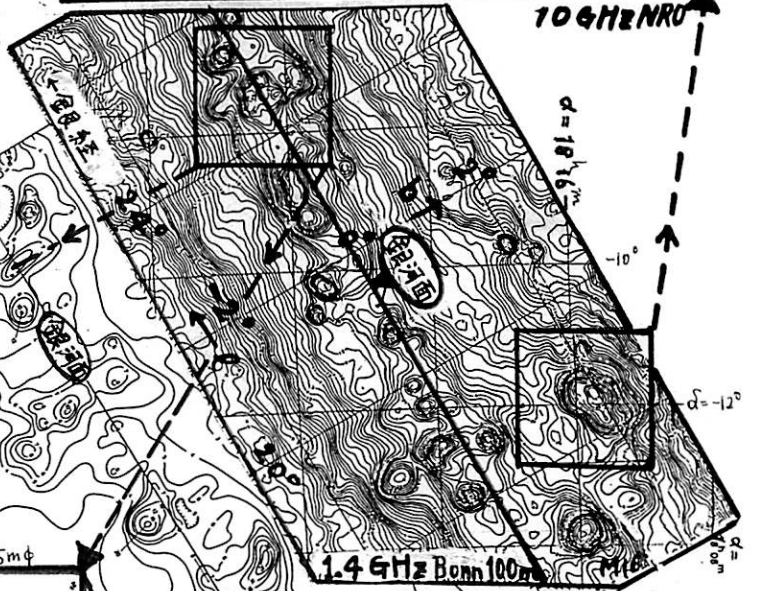
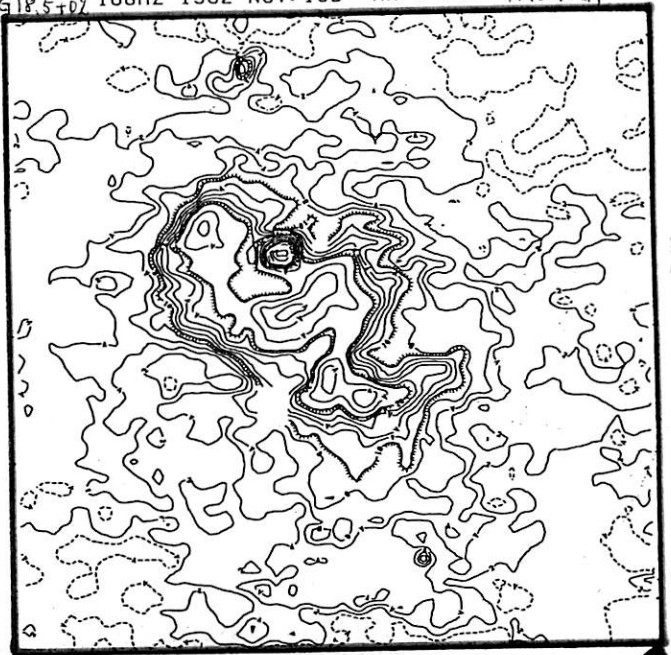
銀河面に広がる
超新星レムナントと
生まれたての星に輝く
光る電離ガス(HII)領域
の数々

1982.12月の共同利用観測開始と目前に10GHz帯
コンパニウム試験観測が行われ、銀河面の一部がマッピングされた。

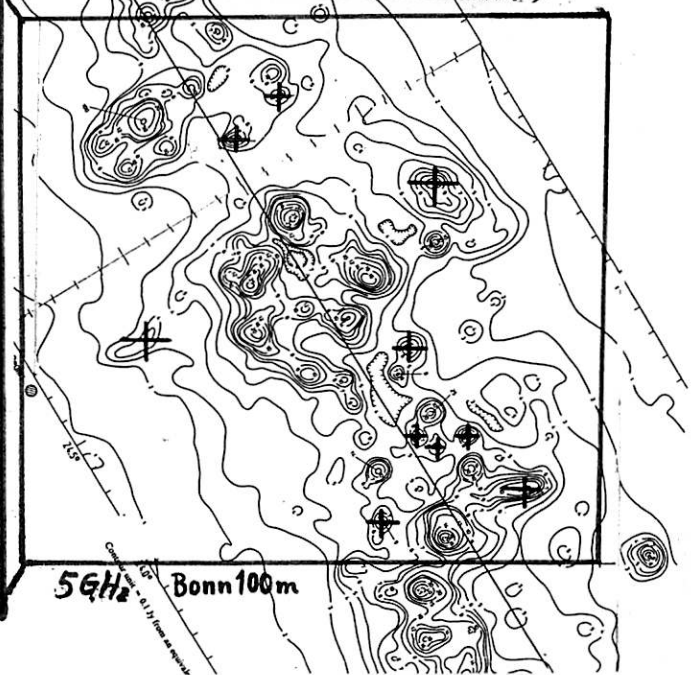
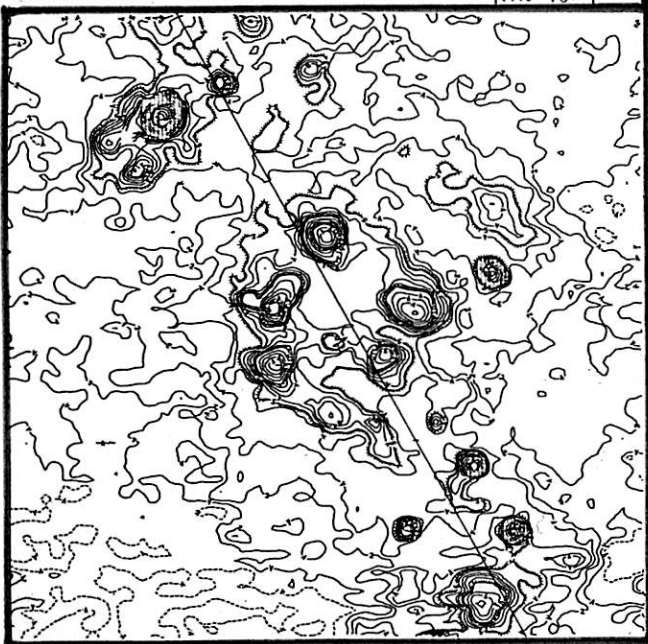
(1) TSB=60Kが達成され、右上、左下のマップはいずれも
デジタライズモード、α-スキャンによる2°×2°、これは
1時間40分の観測によって得られた。

(2) 右上図は巨大なHII領域 N6C 6604

(3) 左下図はHII領域が
円環状に広がる興味深い
場所。5GHz Bonnマップ(右T)
と比べることにより、コンパクトな
超新星レムナントと思われる非熱的
電波源(右下+印)がたまたまみつかった。



G24+00 10GHZ 1982 NOV. 18B RA-S-COR. NRO 45mφ



10GHZ NRO 000